

歩み編さんだより

令和4年5月

Vol.6

『和泊町の歩み』編さん事務局発行



なご と しま こころ和み泊まる島

～『和泊町の歩み』執筆に携わるにあたって～



鹿児島大学農学部客員教授 さめしま 鮫島 まさみち 正道氏
自然編執筆者（動物担当）

この度、『和泊町の歩み』執筆者へのチャンスを頂き、心から感謝いたします。

私はここ40年近く奄美群島の自然、特に動物の研究をしてきました。その中で、沖永良部島の自然との関わりは多く、県文化財保護審議会の立場で住吉暗川・すみよしクラゴ 沖泊海岸のおきどまりかいが大型有孔虫化石密集層の天然記念物指定、国営地下ダム建設事業、県の「まつ松の前池」建設事業等の委員として携わってきました。

タイトルを「なご とこころ和み泊まる島」としました。猛毒蛇ハブのいない、心から自然を楽しめ気候も温暖な花の島、隆起サンゴ礁の特異な地形、アダン等の珍しい海岸植物、地下の大規模鍾乳洞、しょうにゅうどう 海岸に回遊してくるウミガメ類やザトウクジラ等々、この島は魅力満載です。

島外執筆者から見た、沖永良部島の魅力と意外性について、余すところなく十分に紹介できますよう努力いたします。ご期待ください。



事務局体制も新たに がんばってます！

5月に新メンバーを迎え、和泊町の歩み編さん事務局の体制が強化されました。いよいよ編集作業が本格化します！スタッフそれぞれの専門性や得意分野を活かしながら、令和5年度末の刊行に向け円滑な事業推進に努めています。

現在は、町内にお住まいの執筆者による原稿の校正作業のほか、執筆にあたっての相談対応や支援、基礎的資料の作成といった活動を進めています。その他、関係会議の開催や環境整備、他市町村との連携など業務は多岐にわたります。



調査活動も進めています！



町内に眠る歴史的な資料の調査も、事務局が担う大切な役割のひとつです。

左の写真は先日、中世編・近世編の執筆者らが合同で実施した内城地区での調査の様子。多くの資料を確認することができました。

事務局には古文書や古写真などの資料も次々と寄せられています。

『和泊町の歩み』編さん室（事務局）

〒891-9112

大島郡和泊町和泊 591 番地
町立図書館 1階 郷土資料室内

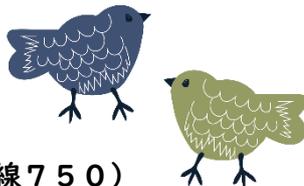
TEL：0997-92-3690（内線750）

和泊町教育委員会生涯学習係

TEL：0997-92-1111（内線368）

担当：木場浅葱（学芸員）先田光演（執筆編集員）

甲恵子（事務）市来美穂（編集助手）



まーちもーり

歩み編さん事務局では古い写真や古文書等の資料を探しています。提供いただいた資料は複写した上で必ずお返ししますので、お心あたりの方はご一報を！事務局は町立図書館内です。いつでも、お気軽にお立ち寄りください。

